



ミネラルの力（天然鉱物抽出ミネラル）

柿栽培での用法（10アールあたり）

ミネラルの力は肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20～30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

果樹類でのミネラルの力の標準用法は、植栽密度・樹齢・樹形・開花・収穫期の違い等、一概に決めかねます。ミネラルの力の施用時期・用量・用法の基本は、次のように考え自園の管理体系に組み込んでください。

- (1) 元肥（休眠期～萌芽期）
ミネラルの力400cc,水500～1,000Lを樹幹枝を洗らうように動噴灌水します。（石灰・硫黄合剤とは混用しない）
- (2) 果実肥大期（玉伸び・大玉づくりのために）
着果・摘蕾後の果実肥大はじめにミネラルの力60cc水300～600Lを葉面散布します。 2回
- (3) 収穫前（食味・糖度・色あがり向上のため）
収穫30～40日前からミネラルの力40cc水200～300L葉面散布3～4回（7日間隔）※収穫7～10日前に終わるように
- (4) 礼肥
収穫完了後ミネラルの力100cc,水500～1,000Lを樹冠灌水又は土壤灌注します。

ミネラルの力合計740cc～780ccを施用します

効果

細根が増えて肥料吸収が良くなると共に樹勢が力強くなります。
新葉に停滞する硝酸チッソが低減し病害に強く果実の食味（糖度）色・玉伸びがよく高品質と高収量を達成できます

※液肥との混用は肥料吸収を高めます。ミネラルの力10,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

※防除の際に農薬を希釈する水としてミネラルの力10,000倍希釈液を用いてくださると効果的です。

※石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

* 農薬と併用の場合は10,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

* 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。

* 希釈水は毎回使い切りください。